教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和５年１月２５日号　多治見市教育委員会　教育総務課

『多治見市中学校連合生徒会』

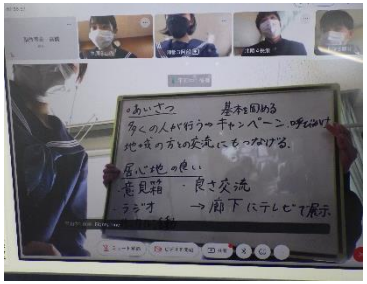
多治見市中学校宣言

私たちは自然と笑顔あふれる学校づくり
まちづくりを目指します
多治見市の中学校の生徒は

一　出会った人に明るく挨拶をします
一　一人一人が自分らしく生活できる
　　居心地のよい集団を目指します
一　情報機器を使う中で正しく判断して
　　使う力を身に付けます
一　持続可能な社会に貢献する一歩として
　　環境美化活動に進んで参加します
一　命や多様性を尊重し、自分や家族、
　　仲間、地域の人を大切にします

令和四年一月七日
第三十一回多治見市中学校連合生徒会

いよいよ令和5年が始まりました。新年を迎え、１月6日(金)に、新型コロナ対策のためオンラインではありましたが、連合生徒会交流会を実施することができました。昨年度改定した「多治見市中学校宣言」の具現に向けて取り組んできたことを交流しました。生徒達は、他校の取組に刺激を受けながら、自校の今後の活動について考えて発表しました。



環境美化活動として、登校中のゴミ拾い活動を進めていきたいという考えや、地域に広がっていくような挨拶運動を進めていきたいという意見などが多くの中学校から出ました。多治見市の未来のリーダーとしてたくましく育ってくれることを期待しています。大変有意義な交流会になりました。

教育実践論文審査会

１月11日(水)に、『とうしん学びの丘エール』において、令和4年度多治見市教育実践論文審査会が行われました。新人の部8点、一般の部13点の応募がありました。いずれも、日々の教育実践に真摯に取り組まれた先生方の熱意が伝わってくる論文でした。主体的で対話的な学びを具現するために、ICT をどのように活用するのかを焦点化した研究実践が多くみられ、とても頼もしく思いました。なお、本審査会において最優秀賞を受賞された先生方を紹介します。おめでとうございます。

一般の部　最優秀賞　精華小学校　　虎山　泰昌　教諭
新人の部　最優秀賞　精華小学校　　福岡　菜々　教諭

土曜学習『タイル博士になろう』

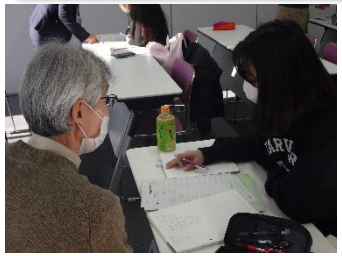
【施設見学の様子】

【貼り加工体験の様子】

笠原中央公民館とモザイクタイルミュージアムを会場にして、１月 21 日に土曜学習を開催することができました。中学生ボランティアを含めて 46 名の児童生徒が参加してくれました。モザイクタイルミュージアムの堀江事務局長及び職員の方、丸万商会、多治見観光ガイドの皆様のご協力のおかげで『タイル博士』になるための4つの体験ができました。カネキ製陶所によるタイルができるまでのプレゼン説明、丸万商会によるタイルの貼り加工体験、教育研究所職員による貼りパネタイル工作、モザイクタイルミュージアム見学ができました。

子ども達は、体験を通してタイルが多治見市の誇りの一つであることを楽しく学ぶことができました。
ご協力ありがとうございました。

冬休みの勉強会



本市では、今年度も外国籍等児童生徒への支援を進めてきました。その一環として 12 月 27 日、28 日、１月５日、6 日の計４日間、駅北庁舎において冬休みの学習会を実施しました。 18名の児童生徒が参加しました。市教委の相談員や支援員のサポートを受けながら、漢字練習や、国語の漢文、数学の問題などの冬休みの学習課題を熱心に取り組んでいました。子ども達の中には、日本語に慣れず苦労している姿もありましたが、それ以上に、「分かりたい」「できるようになりたい」という強い思いを感じました。最終日には、日本の伝統である『書き初め』を行いました。

凜とした空気の中で、集中して取り組む素敵な姿がたくさん見られ嬉しく思いました。